

郷土の偉人・大島有隣
— 石門心学入門(14) —

大島有隣に関して、近年になって新たにわかってきたことがあります。それは、栗橋関所番を勤めた七代目足立十右衛門（以下、十右衛門と略す）と親交があったらしいということです。

十右衛門は、生年は不明ながら、茂田井村（現三郷市）の名主和井田平右衛門の三男として生まれ、金町松戸関所番であった足立家六代目の重右衛門の養子となったという人物です。

後に十右衛門は、寛政十二年（一八〇〇）十一月から天保十二年（一八四一）に隠居するまで栗橋関所番を勤め、嘉永三年（一八五〇）四月に没していますので、まさしく有隣（二七五〇〜一八三六）と同じ時代を生きた人だったことは間違いありません。換言すれば、有隣が最も活躍した時代に、栗橋関所番士だったのが、この十右衛門だったともいえます。足立家に残された「雑事聞書」という多様な記事を書き留めた史料の中には、石門心学、特に有隣の思想を色濃く反映した記載が多く見受けられます。

例えば、心学者の教諭文が記載された箇所では、以下のような内容となっています。

「文政之初心学者より贈られける
孝行は子孫のため 百姓は誠にはたらけ
善は急げ悪は延よ 誠は宝のあつめ所
読み書は道の案内者 察は心の持様
堪忍は其身長久の元 自慢は知恵の行あたり
妬は其身の仇かたき 喧嘩は後悔のもと
家内の喧嘩は貧亡の種時 家内和順は福の神御祭り
（後略）

ここで心学者とあるのは、おそらく大島有隣のことと考えられます。

参考文献『埼玉県史料叢書25 栗橋関所史料六 雑事聞書―日光御参詣御用中書留』



埼玉県立文書館収蔵足立家文書「雑事聞書」ほか

（社会教育課 町史・文化財担当編）

SDGs(エスディーゼーズ)週間

問合せ 総合政策課 政策行革担当 内線209

「SDGs週間」は、SDGsが国連サミットで採択された9月25日を含む約1週間となります。SDGs（持続可能な開発目標）の推進と達成に向けて意識を高め、未来のために行動するきっかけにしましょう。

SDGsは「誰一人取り残さない」世界共通の目標

貧困や環境問題など、世界中の様々な課題解決のために17のゴールと169のターゲットを掲げ、2030年（令和12年）までに達成を目指します。

杉戸町の取組みを紹介します！

町立図書館では、9月中、SDGsに関する展示を実施しています。SDGsに関する本の紹介や、ゴールについてのパネルを展示します。特集展示を通じて、SDGsについて、調べたり考えたりするきっかけにしてみてください。

4 質の高い教育をみんなに	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう

★町立図書館とSDGs

「試験勉強がんばらNight」など学生に学習機会の提供を行ったり、ボランティアの皆さまによる各事業への協力や、「雑誌スポンサー制度」における個人や企業等とのパートナーシップ型の運営により、ゴール達成に貢献しています。



UD FONT by MORISAWA
ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。



杉戸町ホームページ



メール配信すずめー



広報スマホ版マチイロ



杉戸町公式LINE